



自昭和十二年十二月七日
至昭和十二年十二月八日
歩三五四戦詳第三號其之

方山(杜家山)戦闘詳報

歩兵第百十五聯隊第三大隊

1153

自昭和十二年十月七日
至昭和十二年十二月八日

方山(杜家山)附近戦闘詳報

戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

一 十二月五日聯隊ノ溧水城占領ニ依リ據点ヲ失ヒタル敵ハ主力ヲ以テ北方湖熟鎮方向ニ退却中ニシテ附近沿道村落ニハ參々伍々敗殘兵退却中ナルヲ見ル而シテ當方面敵ノ本防禦線ハ方山ノ線ニアルモノ、如シ

二 師(旅)團ハ方山攻撃ヲ準備シ第三大隊(第九第十一中隊)六旅團命令ニ基キ十二月五日溧水—湖熟鎮道上周家庄(溧水北方約八軒)ニ進出シ一部ヲ以テ魏家庄附近ヲ確保シ當面ノ敵情地形特ニ湖熟鎮以南ノ南京道ノ偵察ニ任ス
十二月六日地歩ヲ北方ニ推進シ依然先遣隊トシテ烏石井—

郭莊廟—湖熟鎮道ヲ湖熟鎮ニ向ヒ前進シ方山及漣化鎮
方向ノ敵情地形、偵察ニ任ス途中揚巷ニ於テ敵ノ敗殘
兵、抵抗ヲ排撃シ十數人ヲ斃シ拳銃一小銃三小拳銃
彈約五〇〇ヲ鹵獲ス

午後一時二十分高楊橋ニ於テ晝食中左記要旨ノ旅團
命令ヲ受領ス

左記

一旅團ハ本六日引續キ南京東南角ニ向ヒ急進スルノ企圖
ヲ有ス

二貴隊ハ先ツ高廟ニ向ヒ前進シ旅團ノ予定目標ニ向ヒ更
ニ前進スルヲ要ス

三旅團主力ハ本夕漣化鎮(道路集合点貴隊ノ後方六軒)ニ
於テ一時休憩シ更ニ前進ノ予定

四高廟附近ヨリ旅團主力(歩一五〇)ヨリ一部ヲ派遣シ貴隊ノ左側背ニ併進セシムル予定

(附)

(イ) 情況許セハ大休止ヲ行ハサル予定

(ロ) 貴隊ノ南京一番乗りヲ切望ス

爾後大隊ハ聯隊ノ前衛トシテ湖熟鎮ニ到着シ同地橋梁補修ノ後午後四時五十分歩兵第百五十五聯隊ニ續行シ濇化鎮ニ向ヒ急進ス

濇化鎮附近一帯ノ高地ニハ敷線ノ陣地有リテ敵兵堅固ニ守備シアリ第百五十五聯隊ハ濇化鎮東南方高地線ノ敵ヲ攻撃中ナリ

聯隊ハ午後六時二十分咸田站附近ニ集結シ戦局ノ發展ヲ待ツモ敵ノ抵抗頑強ニシテ遂ニ夜ヲ徹スルニ至ル
十二月七日午前二時左記要旨ノ旅團命令ヲ受領ス

旅團命令ノ要旨

- 一 敵陣地ハ瀋化鎮南方高地線ニアリ
- 二 旅團ハ本七日瀋化鎮方山中間地區ヨリ南京東南角ニ向ヒ敵ヲ追撃セントス
- 三 第百十五聯隊(一々中隊欠)ハ午前三時三十分現在地出發將校斥候ノ誘導ニ依リ山西村附近ニ進出シ南京方面ノ敵情地形ヲ偵察スヘシ
- 四 第百五十聯隊ハ成シ得ル限り兵力ヲ現旅團司令部ノ位置ニ集結シ爾後旅團主力ノ後方ヲ前進スヘシ
- 五 余ハ第百十五聯隊一々中隊ト共ニ前進ス

注意

苦力牛馬ハ部隊ノ最後方ヲ前進セシムヘシ
大隊(9ハ欠)ハ依然聯隊ノ前衛トナリ三時三十分咸田站出

發右方近ク敵監視部隊ニ絶對ニ行動ヲ秘匿シ、潛行ス道
 路ヲ偵察ニ任シタル關口少尉及尖兵長遠間少尉克ク暗黒且
 錯雜セル進路並ニ敵狀ヲ偵察ニ奮闘シ大隊ヲ誘導シ午前
 六時前衛ハ前西郷ニ到着附近ニ兵力ヲ集結シテ極力當面
 ノ敵情地形ヲ偵察ニ努ム

戦闘ニ影響音ヲ及ホセシ天候氣象及戦闘地状態

一 氣象天候

日出概テ午前七時三分 日没概テ午後六時

天候晴天ニシテ行動容易ナリ然レ共夜間ハ氣温急激ニ降下シ降

霜甚敷寒氣ノタメ第一線ハ勿論特ニ負傷者ハ困難ニ感ス首拂曉

ハ朝霧深ク我行動秘匿ニ有利ナリ

二 戦闘地状態

前西郷以面敷線ノ丘陵起伏シ谷地ハ乾田ニシテ遮蔽物ナシ丘陵

ハ殆ト開墾セラレタル畑地ニシテ樹木ナク展望射撃ニ適ス敵ハ稜線

及村落高所ヲ利用シ重輕機關銃座ヲ配シ一連ノ交通壕ニヨリ之ヲ連

絡シ且其大部ハ掩蓋ヲ有ス

谷地ハ正面陣地ニ対シテハ死角多シ然レ共左右稜線陣地ヨリ斜

射側射ノ火網比較的濃密ニ編成セラレアリ

杜家山一帶台地ハ水ニ乏シテ殆ト飲料水ヲ得ルコト難シ

彼我兵力、交戦セシ敵兵團隊號及將師ノ氏名

一彼我ノ兵力

我大隊長信澤少佐以下六五五名

第三大隊本部（大小行木子ハ指揮下ヲ離レ行動中）

第九中隊（一々小隊欠）

第十中隊

第十一中隊（軍旗中隊トシテ参加シ直接大隊内ニアリテハ戦斗セズ）

第十二中隊（一々小隊欠）

第三機關銃中隊

一時聯隊機關銃小隊歩二五〇歩兵砲小隊協力ス

敵指揮官氏名不明

團隊號 第十六師 而シテ大隊當面ハ主トシテ第四十六旅

兵力大隊當面 約八〇〇名

重軽機數著シク多ク砲（迫撃砲）數門ヲ有ス

十二月七日

各時期ニ於ケル戦闘経過

戦闘経過別紙要圖其ノ一如シ

午前九時三十分迄ニ前西郷ニ於テ知り得タル敵情下黄野ニ輕機関銃ヲ有スル敵陣地ヲ占領シアリ上下黄野附近及其後方ニ數線ノ敵陣地アルモノ、如ク上黄野東端及前方クリークノ線ニハ突々敵ノ監視兵(組撃兵)アルヲ見ル

前衛ハ旅團ノ企圖ニ基キ當面ノ敵ヲ撃破シ山西村附近ニ進出スル爲メ機関銃ノ一部ヲ以テ前西郷西側台地ニ陣地占領谷地ノ前進ヲ掩護セシメ聯隊モ亦聯隊機関銃ヲ以テ該地附近ヨリ前衛ノ前進ヲ掩護セシム

午前十時尖兵中隊タル第十二中隊(加ヲ附ス)ヲ第一線トシ大隊本部及爾余ノ諸隊ハ疎開隊形ヲ以テ前西郷西端ヲ出發シ尖兵ハクリーク及上黄野東端ノ敵ノ抵抗ヲ排撃シ、前進シ十時

三十分前衛ハ上黄野西端線ヲ占領ス

敵ハ下黄野南端ヨリ上黄野西方高地ヲ経テ北方俣家辺ノ台地ニ至ル第二線陣地^地據リ抵抗シ特ニB(下黄野東北側台地掩蓋銃座附近ノ陣地)ノ火網ハ最モ熾烈ヲ極ム

茲ニ於テ前衛ハ現在ノ態勢ヲ以テ猛進スルノ不利ナルヲ察知シA方向ヨリ攻撃ノ進展ヲ決心シ機關銃ヲ以テ上黄野中央及北端附近ニ陣地ヲ占領セシメBノ敵ヲ制圧セシメ且第十中隊ノ爾後ノ前進ヲ控致ス(後豫備隊トス)ルト共ニ新ニ第十中隊ヲ第一線トシAノ奪取ヲ命シ機關銃主力ヲシテ之ニ協力セシム第十中隊ハ猛烈果敢ニA陣地ニ肉迫シ機關銃ハ勇敢ニ敵ノ掃射地帯ヲル上黄野西北側谷地^地越ヘテ密接ニ協力シ午後零時三十分敵退却ノ徵アルニ乘シ一舉之ヲ奪取セリA高地ノ奪取ハ附近敵陣地ノ俵望ニ適シ爾後ノ戰鬥指導ニ有利ナリ

敵ハ猶後方敷線ニ亘リ陣地ヲ占領シアリ狀況別紙^要圖其ノ一ノ如シ

此ノ頃聯隊ハ上黄野ニ進出シアリ旅團ハ前西郷附近ニアルモノハ如シ又右翼高化鎮南方高地方面ハ依然頑強ニ抵抗ヲ續ク攻撃未タ進歩セサルモノハ如ク左翼ハ友軍部隊ノ進出ヲ見スC方面陣地ヨリノ斜側射ハ爾後、攻撃前進ニ相當ノ妨害ヲ與フヘク現在ノ第一線兵カヲ以テシテハ暴進ヲ許サル情況ニアルヲ以テ慎重ニ爾後、攻撃ヲ準備中聯隊予備隊タリシ第九中隊ヲ第一線ニ増加セラレ又大隊ノ攻撃正面ヲ稍々北方ニ変換スル様指示セラル第九中隊ハ逐次第一線ノ右後方ニ集結シ概ネ午後一時三十分大隊長ノ掌握下ニ入ル午後二時三十分新ニ第九中隊ヲ右第一線ニ増加シ杜家山ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ左記大隊命令ヲ下達ス

大隊命令

四月七日午後二時三十分
於上黄野西北方高地

一 敵ハ猶後方ニ陣地ヲ構築シアリ
二 大隊ハ杜家山ノ敵ヲ攻撃セントス
三 第九中隊右第一線 第十中隊左第一線
機関銃ハ一々小隊ヲ以テ兩中隊ニ協力スヘシ
爾余ノ諸隊ハ中央後ヲ前進スヘシ

下達法

命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

右命令ニ基キ新ナル態勢ト必勝ノ意氣ニ燃エテ杜家山附近ヨリ其東北方台地ノ敵陣地ニ対シ猛烈ナル攻撃ヲ開始ス
第十中隊方面ニアリテハ行動ヲ起スヤF陣地ヨリ猛烈ナル正面射トC陣地ヨリノ側射ヲ蒙ルモ士氣ヲ鼓舞シ巧ニ地形ヲ利用シ敵ニ猛射ヲ加ヘツ果敢ニ一步一步陣地ヲ推進ス
機関銃小隊ハ第十中隊方面ニアリテ主トシテCノ敵ノ側防並Fノ自動火器制壓ニ努メ熾烈有効ナル射撃ヲ以テ適切ニ

第一線中隊ニ協力ス

第九中隊ハ巧ニ凹地ヲ遮リ左翼ヲ第十中隊ニ掩護セラレ第一
線ニ進出スルヤE及G敵陣地ニ対シ攻撃ヲ開始シ勿念ケE

敵ヲ撃退ス

大隊本部ハ初メ左第十中隊ト共ニ行動シ後第九中隊左翼
直後ニ位置シ予備隊ハ中央後凹地ニ集結待期セシム

敵陣地ハ王家山杜家山及接引庵西北側台地ノ線ハ最モ堅固ナル
モノ、如ク重軽機関銃ノ掩蓋ヲ有スルモノ十ヶ以上ヲ有シ極メテ

頑強ニ抵抗ス

我カ第一線逐次勇敢ニ肉迫スルニ従ヒ敵ノ小重軽機ノ射撃益熾
烈ヲ加ヘ既ニ数名ノ負傷者ヲ生スルニ至リシカ午後四時前後ニ至リ

G陣地ノ後方附近及杜家山西北方^{附近}ヨリ數門ノ迫撃砲我ニ
猛火ヲ浴セ死傷引續キ動ケズレハ戰事膠着状態ニ陥ラントス

此ノ間左第一線タル第十中隊長内山中尉ハ才難ヲ排シ前進ノ

道ヲ打開セント陣頭ニ立テ奮戰中身ニ數彈ヲ受ケテ壯烈ハ
ナル戰死ヲ遂ク爾後小隊長矢島少尉中隊ヲ指揮ス
茲ニ於テ大隊ハ將兵ヲ激勵士氣ヲ振起シ機關銃ヲ以テ第
九中隊左翼ニ陣地ヲ進出セシメF附近ノ掩蓋機關銃座及
附近ノ敵陣地ニ猛射ヲ加ヘ聯隊機關銃一部又倪家辺西北
側我第一線近ク陣地ヲ占領シテG陣地附近掩蓋銃座ヲ制壓
シ我カ大隊ノ攻撃ヲ協力ス第一線両中隊ハMGノ協力下ニ各種火
器威力ヲ最高度ニ發揮シツカ攻奮戰敵陣地ノ突破ニ努ム
第一線ノ情況ヲ聯隊長ニ報告シ午後五時聯隊長ヨリ左記通
報並ニ之ト前後シテ明末明迄二百五十聯隊R1Aヲ増加セラルハ
予定ル旨通報ヲ受ク

左記

一第一線ノ狀況承知

ニ右翼方面ヨリ包圍攻撃スルノ企圖ヲ有スルモ夜間ヲ可トセン

9

三 輕擧前進ヲ戒メ機動ノ餘地ヲ存スル如クセラレ度
四 内山中尉ノ受傷ニ対シテハ同情ニ堪エス
五 貴官健斗ヲ祈ル

敵迫撃砲ハ午後五時稍々過キ頃ヨリ益々猛威ヲ振ニ來又ヨリ
第一線ノ前後進ク集中シ朝來ノ死傷ヲ合シ戰死將校一
重輕傷下士官兵一〇名ヲ生ス逐次倪家邊方同後方部隊ニ対
シ射彈ヲ延伸ス當時倪家邊東南側ニ進出シテ此ノ旨通報セルモ
部ノ危険ヲ察知シ直チニ本部傳令ヲシテ此ノ旨通報セルモ
隔々聯隊本部ニ一彈命中シ聯隊長以下十一名、重輕傷者ヲ生
セリ

我ニ重火器ナリ隣接部隊前述ノ情況ニテ著ルシキ戰況ノ進
展ヲ見ルニ至ラス大隊ハ午後六時左詭大隊命令ヲ下達シ配
備ヲ変更シ極力明拂曉後ノ攻撃ヲ準備ス

前衛命令

十月七日午後六時
於倪家邊西北側

一師團ハ高化鎮ヨリ左翼ヲ攻撃中ニシテ該地ハ未ダ占領セサル
カ如シ

二前衛ハ現在地ヲ確保シ旅團ノ前進ヲ確保セントス

三第九中隊ハ西北面ニテ陣地ヲ占領

第十中隊ハ南方ニ對シ陣地ヲ確保スヘシ

第十二中隊ハ一小隊ヲ以テ東方ヲ確保スヘシ

機關銃ハ一小隊ヲ以テ第九中隊ニ協力

本部及爾余ハ部落南端附近ニ集結

四陣地ノ変換ハ午後七時トス今ヨリ直チニ陣地ノ偵察ヲ實施スヘシ

五現在ノ陣地ハ將校ノ指揮スル一部ヲ殘置スルヲ要ス

爾後情況ヲ見テ新陣地ニ交代ス

六炊爨ハ午後八時以降實施スヘシ火氣ヲ減ラサル様注意ス

ヘシ炊事ヲナスヘキ家ハ其ノ都度指示ス

第十三中隊ヨリ長以下十名、下士十名候ヲ出シ東北方部落(接引)

庵)ヲ燒却スヘシ敵地ニ火災ヲ起シ其間炊事ヲナス

聯隊長注意

一 可(逆襲)等アリタル際ハ沈着剛膽ニシテ左記ノ点ニ着意スヘシ
射撃ヲ爲スニ當リテハ乱射ニ陥ラサルコト

二 射撃ハ彼我ノ距離三十米位其ノ際乍候等見誤ラサル様注意
スヘシ

三 予備隊モ常ト異リ特ニ警戒ニ注意スヘシ

各兵ニ徹底セシムヘシ

夜ニ入ルニ敵ノ射撃ハ衰ヘス(曳光彈)ヲ併用シテ迫撃
砲ノ夜間射撃ヲ繼續スル等我兵力ノ寡少ナルヲ察知スルモ
愈々積極的ニ抵抗シ百方手段ヲ盡シタルモ遂ニ夜襲等ノ好
機ヲ發見スルニ至ラス徹底屑ス

午後七時三十分以後ニ於ケル我配備別紙要圖其ニ如シ
當夜大隊長ハ當面ノ情況ハ多數ノ犠牲ヲ拂フモ急速ニ其ノ

成果ヲ望ミ難ク寧ロ力攻ハ遊ケテ南方ヨリ轉進スルヲ可トスル
所以ヲ意見具申ス

1170

十二月八日

戰鬪經過別紙要圖其三、如シ

午前二時杜家辺ニ於テ左記旅團命令訓示注意事項ヲ受領ス

旅團命令ノ要旨

- 一 聯隊正面ノ敵ハ依然頑強ニ抵抗シアリ
- 二 旅團ハ速ニ穿行弱ニ敵本防禦線地帯ヲ突破シ穴鐘山附近ニ進出シ爾後重点ヲ南京東南角双橋門方面ニ指向シ直接師團主力ノ戰鬪ヲ容易ナラシメントス
- 三 歩兵第百十五聯隊ハ萬難ヲ排シテ攻撃手ヲ力行スヘシ
- 四 百五十聯隊ハ本未明迄ニ旅團ノ位置ニ兵力ヲ集結スヘシ
百五十聯隊ノ聯隊砲ハ本未明迄ニ百十五聯隊ノ後方ニ陣地ヲ占領シ百十五聯隊ノ攻撃手ニ直接協力スヘシ
- 五 衛生隊ハ本未明迄ニ脯帶所ヲ開設スヘシ(歩兵一小隊配屬)
- 六 旅團長ハ現在地ニアリ後百五十聯隊ノ後方ヲ前進ス

1171

訓示

上陸以來將兵、奮勵努力ニ依リ今ヤ南京城頭ニ日章旗ヲ掲クルノ日目捷ニ迫レリ將兵各人堅忍自重必勝ノ信念ヲ以テ萬難ヲ克伏シ各任務ニ邁進センコトヲ期スヘシ

昭和十二年十二月八日

歩兵第二百十八旅團長

伯爵

奥

保夫

注意事項

彈藥ノ節約ニ就テハ常ニ諸官ノ周知セル所ナルモ南京攻
略迄補給困難ナル状態ニアルヲ以テ分隊長以上ノ幹部ノ
指名的射撃手ヲ要求シ必ス一彈一敵ヲ斃スノ固キ信念ヲ
以テ爾後彈藥ノ節用ヲ計リ攻撃手遂行ニ萬遺憾ナカラシ
ムルヲ要ス

大隊ハ方難ヲ排シ杜家山附近ノ陣地ヲ突破スルニ決心シ午前五時更ニ遠間將校斥候ヲ杜家山附近敵情搜索ノ爲出發セシム

大隊命令

十二月八日午前五時三十分
旅 傀 家 迎

一 敵情ニ就テハ變化ナシ

二 大隊ハ更ニ前方陣地ヲ攻撃ヲ奪取セントス

三 各隊ハ午前七時三十分迄ニ昨日午後晝間占領セル

配備ニ就クヘシ

但第九第十中隊ハ各々一小隊ヲ以テ先ツ速ニ配備シ大隊ノ

前進ヲ掩護セシムヘシ

第九第十ノ両中隊ハ第一線トナリ杜家山ヲ攻撃機關銃

ハ一小隊ヲ以テ突入ヲ援護スヘシ

爾余ノ諸隊ハ第一線中隊ノ後方ヲ續行

百五十聯隊歩兵砲隊ハ大隊ノ戦闘ニ協力スル等

四予ハ第一線中隊ノ直後ヲ前進ス

大隊長

信澤少佐

午前七時三十分各部署ニ就キ一着ニ攻撃ヲ開始ス百五十聯隊
歩兵砲小隊ハ第一線西中隊ノ中央後凹地ニ陣地ヲ占領シ主トシ
テ杜家山西方附近敵迫撃砲及F陣地ノ敵掩蓋銃座ノ撲滅
ニ任シ聯隊機關銃一部又第一線西中隊ノ中間ニ陣地ヲ進入
シ主トシテF陣地ヲ制壓シ大隊ノ攻撃ニ協力ス
敵情ハ依然トシテ昨七日ト大ナル変化ナク掩蓋銃座及迫撃砲ノ
射撃熾烈ナリ

午前八時遠間將校F候(半小隊)ハ午前七時二十五分杜家山台
地東端ヲ占領セル報告ヲ受ク該F候ハ夜暗ト地形ヲ巧ニ利用
近接シ杜家山東側(敵前七〇—一〇〇米)ニ進出シアルヲ望見ス
大隊ハ機ヲ失セスF候ノ獲得セル戦果ヲ利用シ一着杜家山
ノ占領ヲ期シ第一線ヲ督勵スMG第二小隊八九中隊左翼ニ陣地

ヲ占領シRMG 150ト共ニF陣地MG第一小隊第十中隊第一線ニアリテ
杜家山北側及H陣地ノ我ニ最モ妨害ヲ與フル敵掩蓋銃座ニ對シ各
最高度ニ火力ヲ發揚セシメ且第十二中隊ノ小隊ヲ以テ第十中隊
ノ左翼稜線ヲ占領セシメH方面ノ敵ニ對シ第十中隊ノ前進ニ
當リ其ノ左翼ヲ掩護セシム

此ノ間第十中隊ハ稜線竝前方凹地ニ對スル左右兩方面ヨリスル
敵ノ集中火ヲ意トセズ左翼方面ヨリ各個躍進ヲ以テ猛烈果
敢ニ前進シ其ノ第一線ハ午前八時三十分杜家山台地東南側ニ
進出セリ

MG第一小隊(因口小隊)ハ第十中隊ノ進出ヲ見ルヤ機ヲ失セズ敵ノ
掃射中ヲ意トセズ分解搬送各個躍進ヲ以テ八時五十分第
十中隊ノ右翼台地ノ中腹ニ達シ爾後遠間作候ノ線ニ進出シ該
地ヲ確保シテ杜家山兩側掩蓋ニ依ルMGヲ射撃シテ大隊ノ
進出ヲ掩護ス

續イテ大隊本部所要ノ傳令ヲ伴ヒ杜家山東南側ニ進出ス
此ノ間各隊各々二三名ノ死傷者ヲ生ズ我一部ノ近迫ヲ知ルヤ後方
後線及谷地ニ対スル敵ノ射撃ハ愈々猛烈トナリ後方部隊ノ爾
後ノ進出ハ益々困難トナル又第一線各隊ハ益々勇ヲ振ヒ進一止遂ニ
午前十時杜家山東側ノ台地ヲ占領セリ
MO第二小隊ハ大隊ノ左翼ニ陣地ヲ變換ス十時三十分現在ノ狀況
ヲ報告ス

而シテ杜家山部迄ノ敵ハ逐次後退セルモ其東北側台地ノ陣
地及西南側陣地ノ敵ハ頑トシテ抵抗衰ヘサルノミカト方圍數線
ノ陣地ニヨル敵ノ側射ハ益々猛烈トナリ我前進ヲ妨害スルニ至ル
又協力ノ歩兵砲ハ彈藥缺乏トシテ射撃ヲ中止シ杜家山後方附
近ノ迫撃砲ハ益々猛烈ヲ振フニ至レリ
且數回ニ亘リ飛行機協力スヘキ旨通報アリ處置セルモ遂ニ其ノ
協力ヲ得止能ハス如キ状態ニシテ第一戰ノ力戰奮闘ニ拘ラス

爾後戰況ニ著ルシキ發展ヲ見ス

午後三時旅團ハ新クニ示サレタル戦斗地境ニ依リ現在ノ戰場ヲ
離脱シ師團主力方向ニ轉出スヘキ旅團ノ企圖及之ニ基キ聯隊
長ノ意圖ヲ受領スルツテ前進ヲ中止シ極力當面ノ敵ヲ制壓シ
テ日没後ニ於ケル離脱ヲ容易ナラシムルコトニ努ム
午後四時十五分左記大隊命令ヲ下達ス

大隊命令 於二月八日午後四時十五分
杜家山

- 一 敵情ニ就テハ現在見ル通り
- 二 大隊ハ現在ノ陣地ヲ離脱シ上黄野北方部落南側凹地ニ
集結シ轉進ヲ準備セントス
- 三 第九中隊ノ小隊ハ高地突端ヲ占領シ大隊ノ行動ヲ掩護スヘシ
RMG一小隊ハ之ニ協力スヘシ
- 第一線中隊ハ一部ヲ残置シ高地線内ニ入ルヘシ残置部隊ハ第
一線部隊ノ高地線内ニ進入後後退スヘシ

四第一線部隊後退法ハ第十第十二MOノ順序トス時ニ行動ヲ秘匿スル爲距離間隔ヲ開キ靜肅ヲ旨トスヘシ
五時刻八日没ト同時ニ戦死傷者ヲ後送後開始スルモトス
六余ハ本部ト同時ニ日没後集結位置ニ至ル

大隊長

信澤 少佐

下達法

命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

各隊ハ日没ヲ待テ嚴ニ行動ヲ秘匿シ戦死傷者(戦死四名
戦傷二名)ヲ後送シタル後大隊命令ニ基キ行動ヲ開始シ敵
ニ察知セラル、エトナリ午後八時予定ノ地矣ニ集結ヲ終リ前西
郷ニ前進シ聯隊長ノ掌握下ニ入ル同地ニ於テ十月十三日新倉
鎮ニ於テ車輛部隊援護ノ爲残置セル第十中隊天川少隊列
看復帰ス午後十一時三十分前西郷出發聯隊行軍序列ニ從ニ
般安一秣稜閣ニ向テ前進ス

1178

轉進ニ關スル聯隊命令

聯隊命令

十二月八日午後六時零分
於 德 家 邊

一 秋山旅團、主力ハ將軍山及其ノ北方地区ニ進出シ旅團司令
部ハ昨七日高家庄(牛首山東南方四軒)ニ達シアリ

旅團ハ本八日夜前西郷―龍都鎮―林陵関―高家庄ヲ經
テ南京南端雨花台東北地区ニ進出シ師團主力ノ戰鬪ヲ容

易ナラシム

歩兵第^十五聯隊ヨリ午後七時其ノ一部ヲ前西郷西側綫線ニ出

シ旅團、集結掩護ニ任スル筈

旅團、前進部署

尖兵歩兵第百五十聯隊、一中隊 旅團司令部 歩兵第百五十聯

隊ノ主力騎兵小隊 歩兵第百十五聯隊

二 聯隊八日没ト共ニ逐次兵力ヲ現在地ニ集結シ旅團ノ進路ヲ高

家庄ニ轉進セントス

三 第一線大隊ハ日没後行動ヲ開始シ成ルヘク速カニ聯隊本部ノ位置ニ兵力ヲ集結スヘシ

四 聯隊ノ行軍序列

第十一中隊ノ一々小隊、聯隊本部、通信班、第十一中隊ノ主力第一機関銃小隊、聯隊機関銃中隊、第三大隊（第十中隊欠）
第二中隊

第二中隊ハ主力ヲ以テ倪家邊北側各一部ヲ以テ西側山上並上黄野東側ヲクリーク橋梁ヲ確保スヘシ

五 聯隊ノ集結ヲ掩護シタル後第三大隊ニ續行スヘシ

六 通信班ハ日没後速カニ通信網ヲ徹收スヘシ

七 余ハ暫ク現在地ニ有リ爾後本隊ノ先頭ニアリテ前進ス

聯隊長 矢ヶ崎 中佐

下達法

先^ニ要旨ヲ各隊長ニ電話及口頭ヲ以テ傳達シタル後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

戦闘成績並戦闘後ニ於ケル彼我ノ景況

一 戦闘成績

1. 敵ノ死約二百名敵陣地特ニ杜家山北側及接引庵北側台地ニ相當ノ損傷ヲ與ヘ大ナル打撃ヲ蒙ラシメタルモノト推定ス

2. 杜家山ノ攻撃ニ依リ高化鎮方面ノ敵ハ腹背ノ脅威ヲ受ケルコト大ナルモノアリ當方面ノ攻撃ヲ著ルシク容易ナラシメタルモノト認め

3. 杜家山ノ力攻ハ方山附近一帯ノ敵ノ視聽ヲ此ノ方面ニ集中シ師團主力ノ方山以南ノ地ニヨリスル進出ヲ容易ナラシメタルモノト認め

二 戦闘後ニ於ケル彼我ノ景況

敵前至近ノ距離ニ接ケル離脱ハ最モ憂慮セル所ナルモ極メテ靜肅順調ニ實施セラレ大隊ハ上黃野北側ニ集結シタル後前西郷ニ於テ聯隊ノ集結ヲ終リ永安村ヲ經テ秣陵閣方向ニ前進ヲ起スモ敵ハ尚我行動ヲ察知セサル如ク暗夜ニ目標無キ射撃ヲ續クツアリ

参考トナルヘキ事項

一敵、編成、裝備、素質及戦法ニ就テ

1. 重軽機、自動火器多ク砲（迫撃砲）數門ヲ有ス

2. 數帯ノ稜線ヲ巧ニ利用シ據点式防禦陣地ヲ編成ス而シテ

正面ノ兵力ヲ減少シ陣地前谷地通過ニ際シ左右據点ヨリ猛烈ナル斜射側射ヲ為ス為ニ遮蔽物無キ谷地通過ハ極メテ困難セリ

3. 斯ノ如キ陣地ニ対シ砲兵ハ勿論歩兵砲ヲ有セス一々大隊弱ノ兵力ニ依ル攻撃ハ戦闘ノ始ヨリ相當無理ナル戦斗ヲ實質セリ

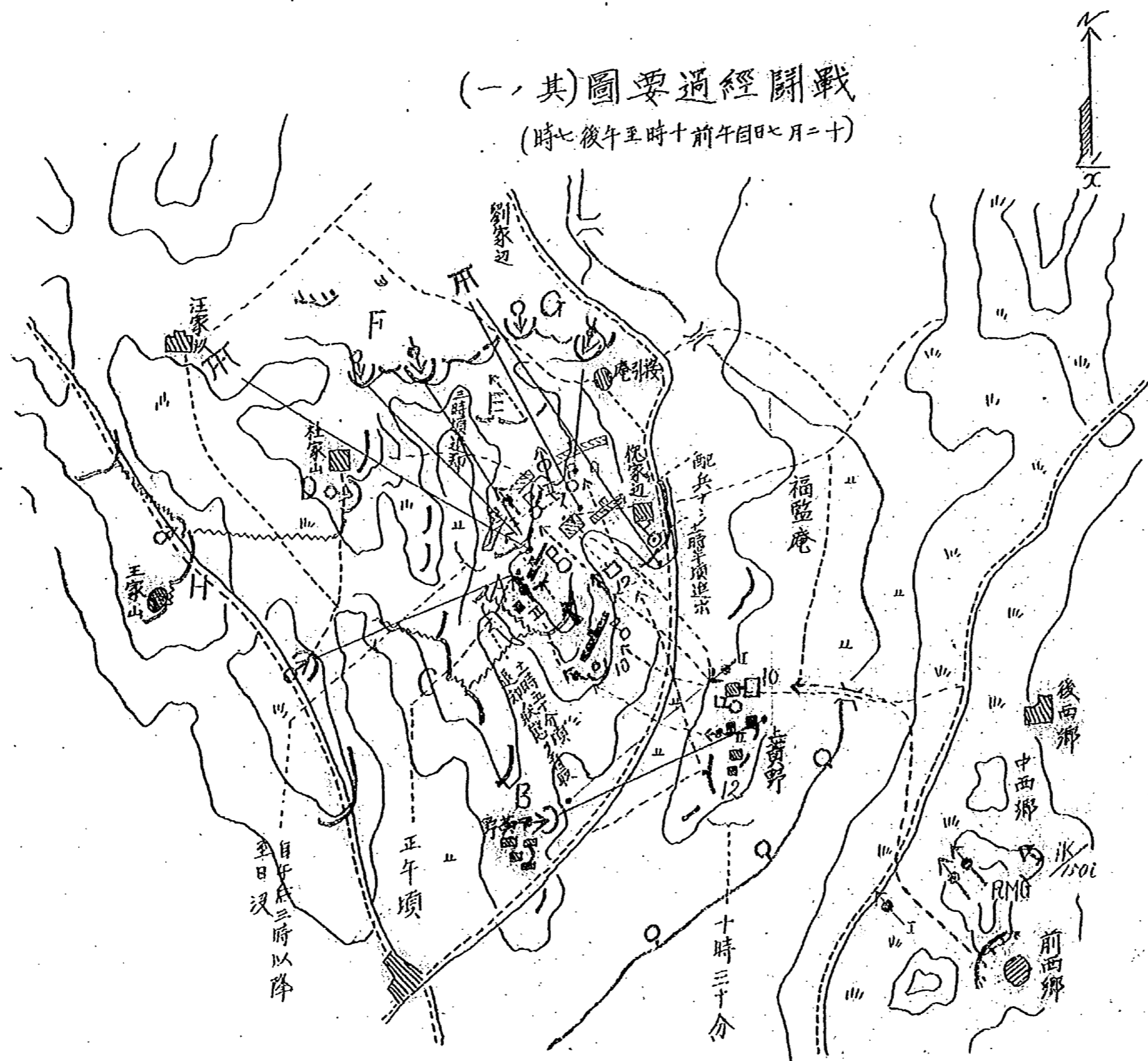
4. 敵ハ一般ニ企圖心ニ乏シ然レトモ防禦ハ頗ル勇敢ニシテ近距離

ニ於ケル射撃ハ悔リ難キモノアリ殊ニ要害ニ対スル狙撃的急射ハ迅速且ツ彈著極メテ良好ナリ

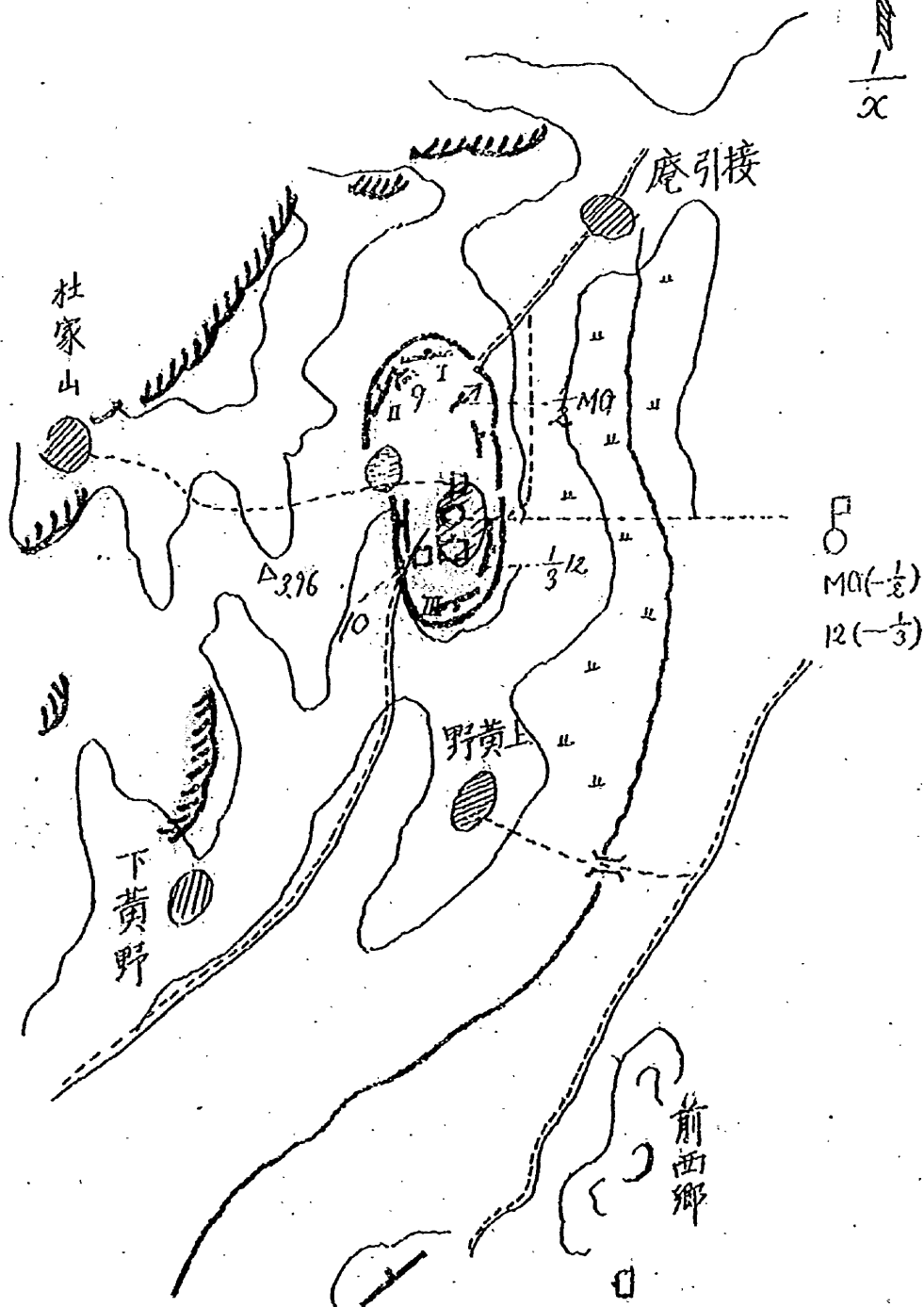
二日没後迫撃砲射撃シタメ度々曳光彈ヲ使用セリ

(一、其)圖要過經戰

(時七後午至時十前午日七月二十)

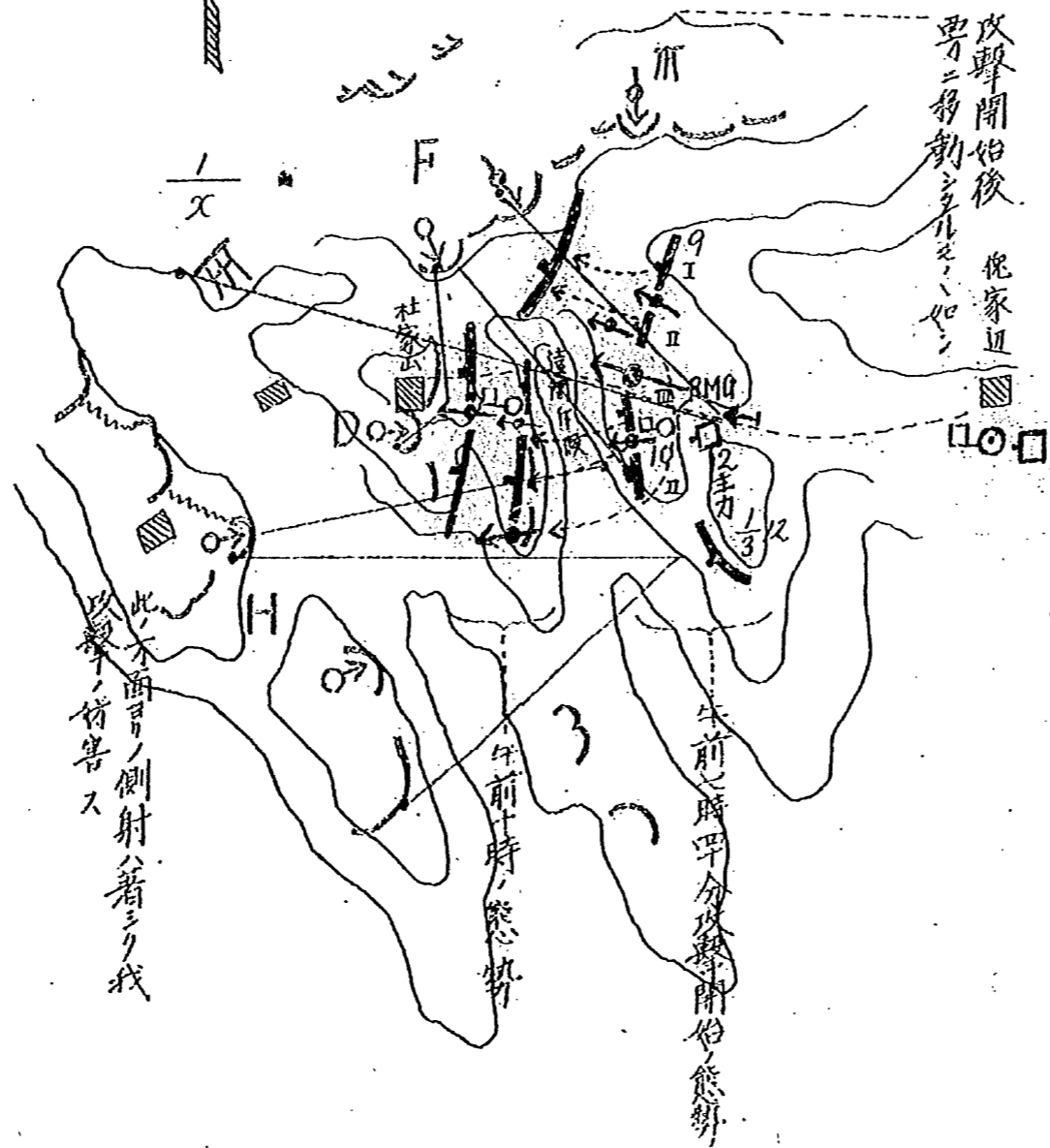


勢態ルケ於(降以半時七後午)夜日七月二十



1184

(三ノ其) 圖要過經關戰
 (ルケ於二日八月二十)



戦闘詳報

附表一

昭和十二年十二月七八日

第三大隊死傷表

備考	總計	本部					隊分	已	戰闘参加人馬	死	傷	生死不明
		314	12	11	10	9						
一員傷者中輕傷シテ隊ト共ニ行動シアルモノ將校二下士官一兵一計四名 二第十中隊八聯隊軍旗護衛中隊トシテ行動ス 三大隊本部員傷者中六第十一中隊ヨリ勤務中ノモノトス	二二六五五	三三八	三八七	四一六二	四一六六	三一五	五	一七	一	二	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

戦闘詳報

附表二

昭和十二年十月七八日 第三大隊武器彈藥損耗表

備考	合計	3MG	12	11	10	9	本部	隊		種類	損失	
								號	藥			
第十中隊八聯隊軍旗護衛中隊トシテ行劾ス	七三〇		八〇		一六六	三三五	九九七	小銃	小銃	消	費	
	七三〇	七〇						機銃	機銃	彈		
								手榴彈	拳銃	藥		
									小銃	小銃	武	損
	一		一					機銃	機銃			
								騎銃	其	器		
									小銃	小銃	彈	藥
									機銃	機銃		
									其	其		
									其	其	甚	甚
									其	其		

戦闘詳報第一號

附表三

昭和十二年十二月七八日 第三大隊鹵獲表

考	備	員數	種類	
			浮	虜
			区分	銃
			將校	刀劍
			准士官	砲
			下士官	實砲
			馬匹	砲彈
		拳銃 小銃 五		器具
				糧秣

功績特ニ顯著ナル者

一 第十中隊長 中尉内山齡

十月七日上黄野西北方高地ノ攻撃ニ當リ中隊長トシテ行動極メテ勇敢ニシテ部隊ノ指揮掌握適切ナリ

二 第十中隊 (第一小隊 欠)

十月八日午前七時甲分攻撃開始地点ヨリ杜家山東端ニ対スル勇猛果敢ナル前進ハ大隊ノ杜家山占領ノ主因ヲナスモノナリ
特ニ左小隊(五)第一分隊(長北野伍長)ノ先頭第一番ノ果敢ナル躍進ハ同中隊ノ勇敢ナル前進ヲ誘致シタルモノナリト認ム

三 機關銃第一小隊(長田口少尉)

十月八日午前八時遠間仔候ノ獲得セル戦果ヲ擴張スル爲彈雨ヲ肩シテ勇敢ニ杜家山台地ニ突進シ熾烈ナル火力ヲ以テ遠間仔候ノ孤立ヲ援ケ第一線各隊特ニ協力中隊タル第十中隊ノ前進ヲ容易ナラシメタル勇敢且犧牲的行動ハ大隊ノ戦斗ヲ

極メテ容易ナラシメタリ

四

遠間將校作候(長第十二中隊遠間少尉)

杜家山附近敵情偵察ヲ命セラルルヤ夜暗ト地形ヲ巧ミニ
利用シ沈着克ク杜家山東端敵前六十米ニ迫進シテ情況ヲ確
メ且之ヲ確保シタルハ杜家山占領ノ端緒ヲ開キタルモノナリ

五

大隊本部

小林 伍長

新井 上等兵

今井 一等兵

飯塚 上等兵

高木 上等兵

武井 上等兵

井上 一等兵

下田 上等兵

本戰鬥間本部傳令トシテ特ニ勇敵ニ行動シ其任務ヲ完フス